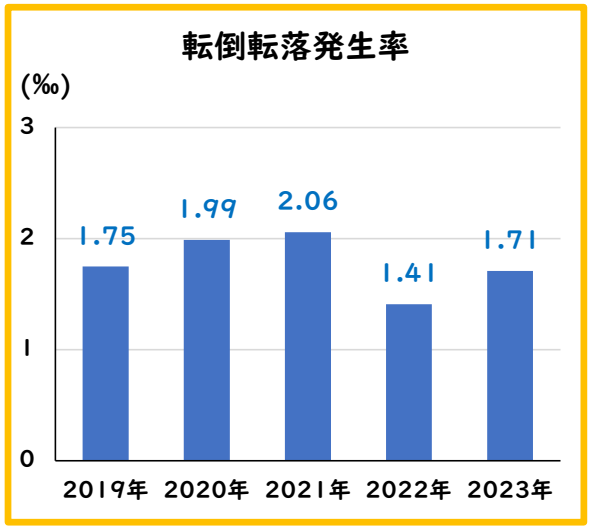
34 転倒・転落発生率および転倒・転落による骨折発生率

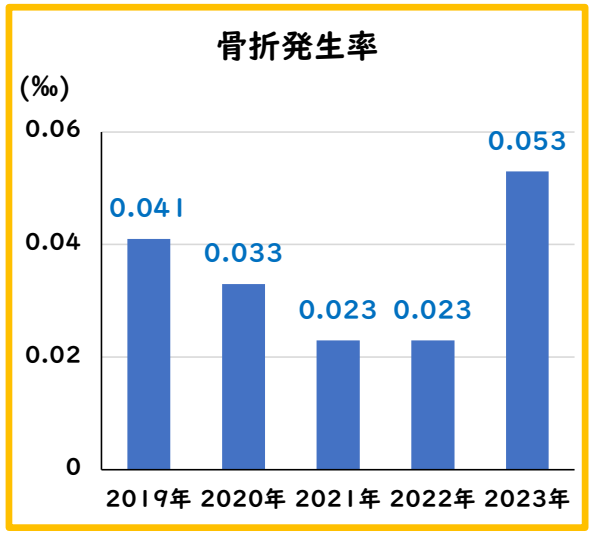
医療安全管理部

◆解説◆

転倒・転落発生率は看護の質評価のひとつです。当院では、入院後に転倒・転落リスク評価を行います。要因によっては二次評価から転倒・転落予防対策を実践しています。その一連のプロセスを評価する指標と考えます。

◆当院の実績◆





◆自己点検評価◆

2020年度、2021年度は2‰前後の転倒・転落発生率であったのに対して、2022年度は1.4‰とやや低下していました。また、2019年以降、転倒・転落による骨折発生率も低下しています。

当院では、入院時にすべての患者さんについて転倒・転落アセスメントと筋力バランスの評価を行っています。さらに、多職種で様々な視点で転倒・転落の防止に努めています。

◆定義◆

転倒・転落発生率：入院患者の転倒・転落件数／入院患者延べ人数×1000
転倒・転落による骨折発生率：入院患者の転倒・転落による骨折件数／入院患者延べ人数×1000